仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-1	分類	共通	担当課	経営企画課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	市バス・地下鉄利用のきっかけ作り				
目的	若い世代の方々に市バス・地下鉄を利用していただくきっかけをつくることで、将来にわたる利用促進を図る。								
内容	・市バス・地下鉄を利用するきっかけとなるよう無料で1日乗り放題となる「中学3年生卒業おめでとうきっぷ」「1ねんせいはじめてきっぷ」を配布する。 ・ご利用のきっかけづくりにつながる施策の検討・実施 ・小学生の親子に地下鉄車両基地や市バス営業所などの施設や車両等を見学等をしてもらう「バス・地下鉄親子探検ツアー」や、普段目にすることのできない車両基地内や車両を間近で見ていただくことができる「バス・ちか祭り」等のPR事業を行う。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7					
予定	「中学3年生卒業おめでとうきっぷ」「1ねんせいはじめてきっぷ」の配布									
		新たなターゲット検討								
	市バス・地下鉄に親しみを持ってもらう取組みの実施									

【年度計画】

目標と実施方法	【中学3年生卒業おめでとうきっぷ】 令和2年度の配布について、仙台市以外の3市に対象を拡大したことから、その効果検証を踏まえ、事業を実施する。 【1ねんせいはじめてきっぷ】 コロナ禍における実施方法を検討・実施する。 【PR事業】 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した実施方法や、コロナ禍の影響を受けないオンラインやWEBを活用した新規事業を検討・実施する。	数値目標	【中学3年生卒業おめでとうきっぷ】 前年度からの利用者増 【1ねんせいはじめてきっぷ】 同きっぷによるマイカー等からの利用転換者数360人。 【PR事業】 夏期・秋期、各1回以上実施する。

【備考】

※動画版「市バス・地下鉄探検ツアー」は、下記リンクよりご確認ください。

仙台市交通局ウェブサイト[動画版「市バス・地下鉄探検ツアー」]

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-2	分類	共通	担当課	経営企画課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	大学・高校等との連携				
目的	大学・高校等と連携し、新たな企画を検討・実施することで、市バス・地下鉄の増客・増収を図る。								
内容	仙台市内の大学や高校等と連携し、オープンキャンパスや新入学生説明会等の機会に「学都仙台フリーパス」（※1）のPR等を行う。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7					
予定	新型コロナウイルス感染症流行下の連携方法の検討・実施									
	オープンキャンパスや新入生説明会等でのPR実施									

【年度計画】

目標と実施方法	東北大学と行っている定例打合せ等において、コロナ禍によりオンライン説明会等が増えていることを踏まえ、新たな連携方法を検討・実施する。	数値目標	新たな取組みを大学1校と検討及び実施する。

【備考】

※1 「学都仙台フリーパス」については、下記リンクよりご確認ください。
仙台市交通局ウェブサイト［学都仙台　市バス・地下鉄フリーパス］

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-3	分類	共通	担当課	経営企画課、業務課、営業課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	沿線の地域、イベント、施設等との連携				
目的	市バス・地下鉄沿線の地域、イベント、施設等との連携により、市バス・地下鉄を利用するきっかけを作り、増客及び増収を目指す。								
内容	・地元情報誌等とのタイアップにより、市バス・地下鉄沿線の観光地やお店等の地域情報やイベント情報の発信を行う。 ・地下鉄施設等での各種イベントの実施について協力する。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7					
予定	地元情報誌等とのタイアップによる情報発信、イベントへの協力									

【年度計画】

目標と実施方法	新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、情報発信やイベント等への協力を行う。	数値目標	上期・下期、各1回以上実施する。

【備考】

※S－styleタイアップ（「カメラ片手に気ままなバス旅」毎月掲載）バックナンバーは、下記リンクよりご確認ください。

仙台市交通局ウェブサイト[カメラ片手に気ままなバス旅]

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-4	分類	共通	担当課	経営企画課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	イメージアップ事業の推進				
目的	人気コンテンツと連携・協力することで、市バス・地下鉄のイメージアップを図り、増客を目指す。								
内容	・映画やアニメ等とのタイアップによるスタンプラリー等の各種イベントを実施する。 ・局施設や車両での映画等の撮影への協力を行う。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7					
予定	人気コンテンツとのタイアップによる各種イベントの実施、撮影への協力									

【年度計画】

目標と実施方法	新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し、国や市のガイドラインを参考に実施内容等の検討を行う。	数値目標	年1回以上実施する。

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-5	分類	共通	担当課	経営企画課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	地元スポーツチーム等との連携				
目的	地下鉄沿線に本拠地を持つプロスポーツチームとの連携により応援ムードを盛り上げることで、試合会場への市バス・地下鉄の利用を促し、増客を目指す。								
内容	・東北楽天ゴールデンイーグルスのホームゲームへのシャトルバスを運行する。 ・タイアップにより車両や駅施設へのポスター等の掲出を無償で行うほか、スポーツチームの本拠地での市バス・地下鉄の利用を促す広報を行う。 ・局事業にプロスポーツチームマスコットキャラクターを活用する。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7					
予定	プロスポーツチームとのタイアップによる情報発信									

【年度計画】

目標と実施方法	イベントへのマスコットの参加やプロスポーツ団体の媒体へのバス・地下鉄の利用促進の広報を依頼する。	数値目標	年1回以上活用する（定期的な取組みは除く）。

【備考】

※動画版「市バス・地下鉄探検ツアー」は、下記リンクよりご確認ください。

仙台市交通局ウェブサイト[動画版「市バス・地下鉄探検ツアー」]

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-6	分類	共通	担当課	財務課、業務課、営業課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	資産の有効活用				
目的	安定的な経営に向け、既存資産を有効活用することで、増収を図る。								
内容	・既存の有効活用策（駅構内やバス駐車場・営業所への自動販売機やコインロッカー、通信機器等の設置、駐車場用地の有償貸付等）を適切に継続する。 ・駅構内及び高速鉄道用地の未利用箇所について、新たな有効活用を検討、実施する。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7
予定	既存の有効活用策（貸付や目的外使用許可等）の継続実施及び地価の動向等を踏まえた貸付料の改定				
	新たな有効活用策の検討及び実施				

【年度計画】

目標と実施方法	・資産の貸付や目的外使用許可により安定的な収入を確保する。 ・事業資産や遊休資産に係る新たな有効活用策を検討し、順次実施する。	数値目標	資産の活用による収入額について前年度以上を目指す。

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-7	分類	共通	担当課	経営企画課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	広告料収入の確保				
目的	広告媒体、料金及び周知広報等の見直しにより、広告料収入の確保に向けた取組みを進め、収益性の改善を目指す。								
内容	・車両や駅施設等への新規広告媒体の設定や既存広告媒体（※1）の運用等の見直しを行う。 ・交通局自らが広告営業のダイレクトメールを郵送するなど直接営業を行う。 ・全てのバスの広告掲出状況を調査し、契約内容及び届出どおりに掲出されているかの確認を行う。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7					
予定	広告料収入の確保に向けた取組みの実施									

【年度計画】

目標と実施方法	実際に広告販売を行う取次人と調整のうえ、広告販売の活性化に資する取組み内容を検討・実施する。	数値目標	新規媒体の設定、又は運用等の見直しによる既存媒体の増収を、年2媒体以上で達成する。

【備考】

※1 「既存広告媒体」については、下記リンクよりご確認ください。
仙台市交通局ウェブサイト「広告のご案内」（メディアガイド）

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-8	分類	地下鉄	担当課	経営企画課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	地下鉄の運賃水準の検討				
目的	収支採算性の目安とされる東西線開業40年以内の累積欠損金（※1）解消を念頭に、累積赤字を低減する。								
内容	収支状況を注視しつつ、地下鉄の運賃改定の時期や必要性について検討する。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7					
予定	収支状況の分析									
	運賃改定時期や必要性の検討									

【年度計画】

目標と実施方法	収支状況を注視し、決算分析を行うとともに、分析結果とそれを踏まえた運賃改定の必要性等を局内に報告する。	数値目標	

【備考】

※1　累積欠損金とは、営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のことです。東西線開業後40年の令和36年度までの解消を目指しています。

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-9	分類	共通	担当課	財務課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	企業債発行額の精査による利息負担の軽減				
目的	持続可能な財政運営に向けて、企業債利息負担の抑制を図る。								
内容	企業債を財源とする建設改良事業の絞り込みを行うとともに、国庫補助金等の活用できる財源の確保に努め、適切な新規借り入れに努める。 また、企業債の借入期間及び償還方法等の精査を行う。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7					
予定	国庫補助金及び一般会計繰入金予算要求									
	予算査定									
	借入方法検討									

【年度計画】

目標と実施方法	建設改良事業の予算査定時において丁寧なヒアリング等を行ったうえで、設備更新のスペックを見直すなど事業の必要性を精査し、適切な事業実施に努める。 また、国や一般会計の補助制度等を注視し、活用可能性のある補助スキームがある場合は、積極的な財源確保に努める。 さらに、金利情勢や借入金額等を考慮した上で借入条件を決定する。	数値目標	収支見通し上の令和3年度見込利率（1.5%）以下での企業債借入を行う。

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-10	分類	共通	担当課	業務課、電気課、施設課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	燃料費・光熱水費の節減				
目的	燃料費・光熱水費の節減に取り組むことで、事業運営費の圧縮と環境負荷の低減を図る。								
内容	・電力需給契約の相手を競争入札により選定するとともに、LED照明など省エネ設備への切り替えを順次進め電力費の圧縮を図る。 ・業務運用の改善（バス乗務員へのエコドライブの指導や、職員に対する光熱水費の使用量節減の意識づけの徹底等）の取組みを実施する。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7					
予定		・東西線電力需給入札	・南北線及び営業所電力需給入札		・東西線電力需給入札					
	南北線変電所特別高圧受電設備等更新									
	省エネ設備への順次切り替え、業務運用の改善の取組みの実施									

【年度計画】

目標と実施方法	・各設備更新の際には、適切な省エネ機器導入を進める。 ・電力需給契約入札参加資格条件について他事業者や本庁等の実績を基に検討する。 ・営業所等における光熱水費節減の取組み実施を徹底する。 ・バス乗務員へのエコドライブの指導を行う。	数値目標	・当年度実施予定のLEDへの改修工事2件実施する。 ・業務運用改善により削減できる光熱水費について、前年度使用量実績を下回る。

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-11	分類	共通	担当課	財務課、整備課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	投資の選択・集中				
目的	持続可能な事業運営に必要不可欠な投資を計画的に実施する。								
内容	・将来の事業規模、乗車人員やサービス水準を見据えて、投資の選択・集中を行う。 ・不要不急な事業の削減、設備更新スペックの見直し、中古バス車両の購入等により投資の抑制を図る。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7
予定	予算査定及び長期建設改良計画内容確認				
					不要不急な事業の削減、設備更新スペックの見直し、中古バス車両の購入等による投資の抑制

【年度計画】

目標と実施方法	・予算査定時において丁寧なヒアリング等を行ったうえで、設備更新のスペックを見直すなど事業の必要性を精査し、適切な事業実施に努める。 ・予算査定時において長期建設改良計画の内容確認を行い、必要に応じて事業担当課に修正を指示する。 ・20年以上使用している車両を効率的に減らし、また、年式ごとの車両数の平準化を図り、車両管理の効率化を図るために中古車を活用する。	数値目標	・建設改良費を収支見通し上の令和3年度計画額（自動車11億円、高速鉄道20億円）以内とする。 ・中古バス車両を6台導入し、必要台数を確保する。

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-12	分類	バス	担当課	輸送課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	バス運転業務の管理の委託の実施				
目的	道路運送法第35条の規定に基づく「一般旅客自動車運送事業の管理の受委託」を活用することで、民間活力の導入と経営効率化を図る。								
内容	白沢出張所、七北田出張所、東仙台営業所、霞の目営業所について、引き続きバスの運転業務、運行管理業務及び整備管理業務などの業務全般を民間バス事業者へ委託することにより、経費削減・事業の効率化を図る。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7					
予定	バス運転業務等の管理の委託の実施									

【年度計画】

目標と実施方法	運転業務、運行管理業務及び整備管理業務などの業務全般の民間バス事業者への委託を継続する。	数値目標	

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-13	分類	バス	担当課	輸送課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	バス運転業務の管理の委託のあり方検討				
目的	道路運送法第35条の規定に基づき、バス事業者が路線やダイヤ、運賃の決定を行いつつ、バスの運転や運行管理及び整備管理業務を一体で他のバス事業者に委託する「一般旅客自動車運送事業の管理の受委託」の活用方法を見直すことで、更なる民間活力の導入と経営効率化を図る。								
内容	現在の委託規模（事業量の50%以内）を継続しながら、一般旅客自動車運送事業の管理の受委託について検討を行う。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7					
予定	バス運転業務等の管理の委託のあり方検討									

【年度計画】

目標と実施方法	事業者選定にあたり競争性を確保するため、県外事業者への受託意向調査を行う。	数値目標	県外事業者への受託意向調査を2社以上行う。

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-14	分類	地下鉄	担当課	営業課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	駅業務委託の実施				
目的	地下鉄駅務の業務委託を行うことで、民間活力の導入と経営効率化を図る。								
内容	地下鉄駅務の業務委託を引き続き行うとともに、南北線において委託駅の拡大を検討することで、更なる民間活力の導入と経営効率化を図る。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7					
予定	委託駅拡大の検討		・次期選定手法の検討	・南北線選定	・東西線選定					

【年度計画】

目標と実施方法	・現行委託事業者に対して、委託の実施状況の監査を行う。 ・委託駅拡大について、適切に検討を行う。	数値目標	

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-15	分類	バス	担当課	輸送課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	利用状況に応じた運行の効率化（一定エリアの路線廃止）				
目的	路線バスから地域交通への転換を進めることで、運行の効率化を図り、持続可能な経営体質を構築する。								
内容	仙台市都市整備局が令和3年に策定する「地域公共交通計画」に基づき、路線バスから地域交通への転換を進める。また、既存市バス路線と地域交通の乗継ぎ等調整を行う。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7					
予定		地域交通への転換の推進								

【年度計画】

目標と実施方法	地域交通転換エリアが決定していないため、R3は年度計画なし。

【備考】

※地域交通転換エリアが決定していないため、R3は年度計画なし。

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-16	分類	バス	担当課	輸送課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	利用状況に応じた運行の効率化（便数調整）				
目的	バス事業の効率性・採算性を改善するため、便数調整等を行うことにより運行の効率性向上を図る。								
内容	路線バスの系統・区間の利用状況を詳細に分析し、ダイヤ改正において需要に応じた便数調整等を行う。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7					
予定	運行効率性向上（便数調整等）の検討・実施									

【年度計画】

目標と実施方法	運行の効率性向上を目指して需要に応じた便数調整等を行う。	数値目標	

【備考】

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-17	分類	バス	担当課	経営企画課、業務課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	市バスの運賃改定				
目的	運賃改定を行うことで、資金不足比率（※1）を経営健全化団体（※2）判断基準の20%未満に抑制し、市バス事業を安定的に運営する。								
内容	・計画期間中に運賃改定を実施する。 ・改定時期と改定幅は、各種取組みによる収支状況や新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえて検討を行い、決定する。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7					
予定	収支状況分析、改定時期・改定幅検討 ・運賃改定事務作業シミュレーションの実施		・運賃改定時期 ・改定幅決定	運賃改定作業						

【年度計画】

目標と実施方法	・運賃改定に係る事務作業のシミュレーションを実施する。 ・決算状況の分析を行い、改定時期・改定幅の検討を行う。	数値目標	

【備考】

※1「資金不足比率」とは、営業収益に対する財政健全化法上の資金不足額の比率であり、経営状況の悪化の度合いを示す指標です。
※2 財政健全化法上の資金不足比率が20%になると、「経営健全化団体」とされ、国より厳しい経営改善に向けた取組みが求められます。

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	4-1-18	分類	共通	担当課	財務課	戦略	持続可能な経営の確保	年度	R3
取組	経営基盤の強化、経営の健全化			個別取組	経営改善によるバスの一般会計補助金の抑制				
目的	経営の自立性及び持続可能性を高める。								
内容	一般会計補助金の繰入額の抑制に取り組む。								

年次計画	R3	R4	R5	R6	R7					
予定	一般会計補助金予算要求									

【年度計画】

目標と実施方法	・一般会計に対して適切な金額での補助金予算要求を行う。 ・上記要求にあたっては、補助の妥当性及び必要性や積算方法の精査を行ったうえで金額を算出する。	数値目標	一般会計補助金の繰入額を収支見通し上の令和3年度計画額（30億円）以内に抑制する。

【備考】